

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第12週の発生動向

□ 全数報告の感染症（12 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘(入院例) 1 例、梅毒 3 例、百日咳 38 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	50歳代	男	—	発熱、肺炎、菌血症
	水痘(入院例)	宮崎市	70歳代	男	検査診断例	発熱、発疹、免疫不全
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群					症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	40歳代	50歳代	
5類	百日咳	宮崎市	9例	1	1	6		1	持続する咳、夜間の咳き込み、 スタック、ウープ、嘔吐、 白血球数増多
		都城	8例			8			
		延岡	2例			2			
		日南	7例			7			
		高鍋	4例			3	1		
		日向	7例			7			
		中央	1例			1			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 910 人(定点当たり 24.0)で、前週比 83%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 117 人(2.0)で、前週比 72%と減少した。高千穂(7.0)、延岡(3.4)、高鍋(2.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 60 歳以上が全体の約 4 割、15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

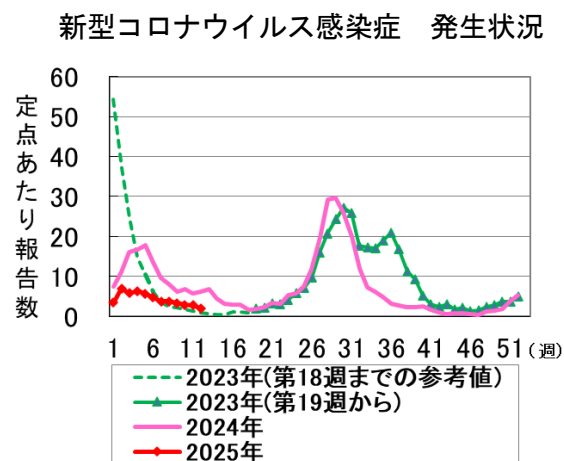
【感染性胃腸炎】

報告数は 573 人(15.9)で、前週比 88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.6)の約 1.7 倍であった。小林(25.0)、宮崎市(21.6)、高鍋(16.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 5 歳が全体の約 2 割を占めた。

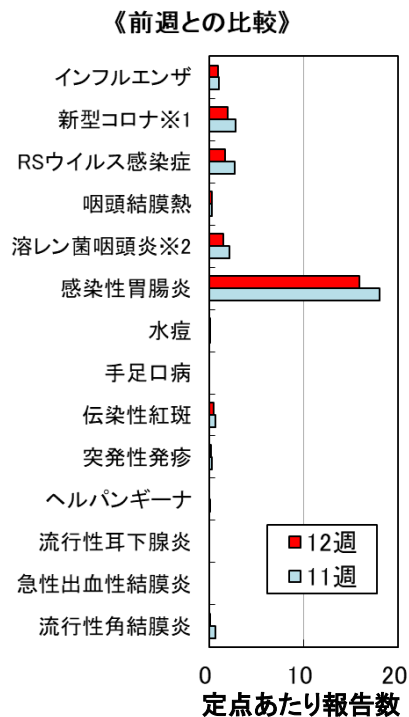
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 55 人(1.5)で、前週比 71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約 0.7 倍であった。中央(7.0)、日南(4.0)、延岡(2.0)、高千穂(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 8 歳が全体の約半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

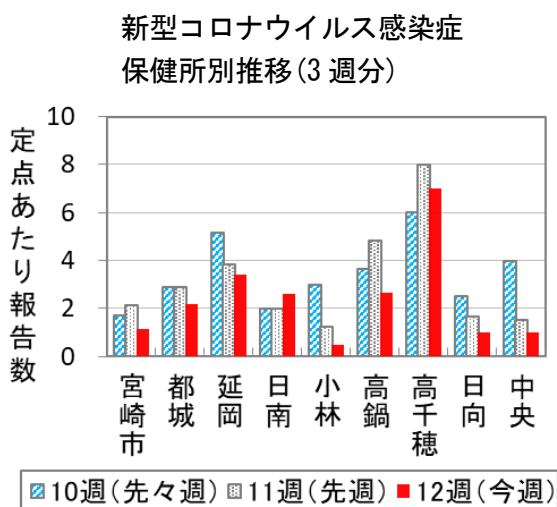


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

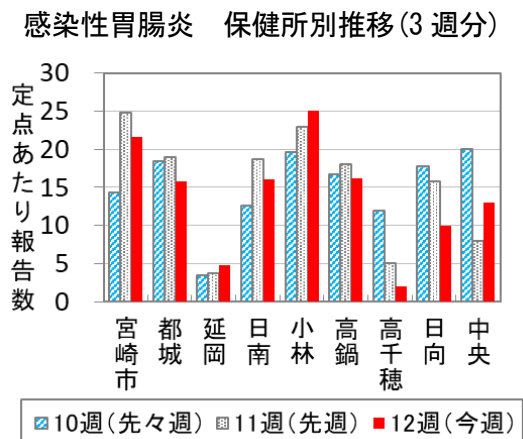
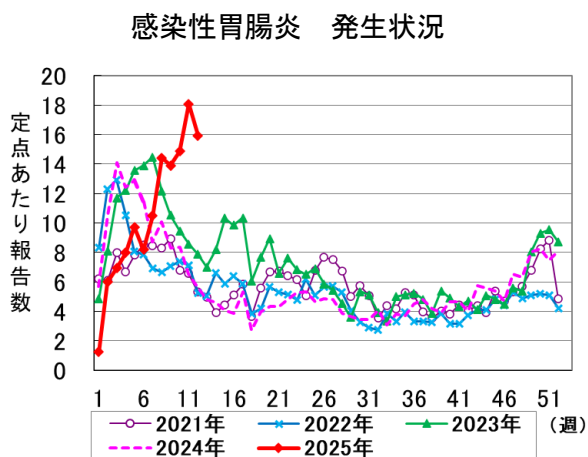
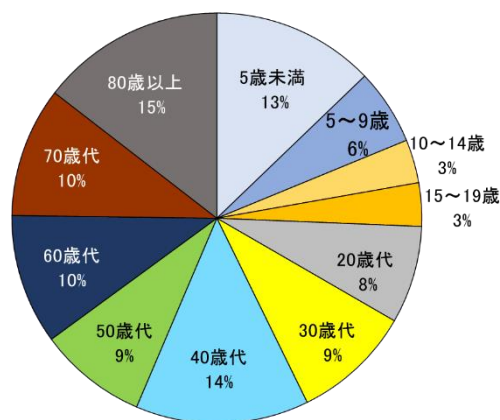


※1 新型コロナウイルス感染症

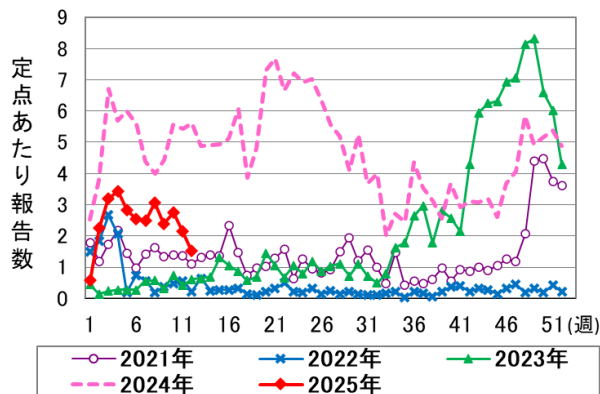
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



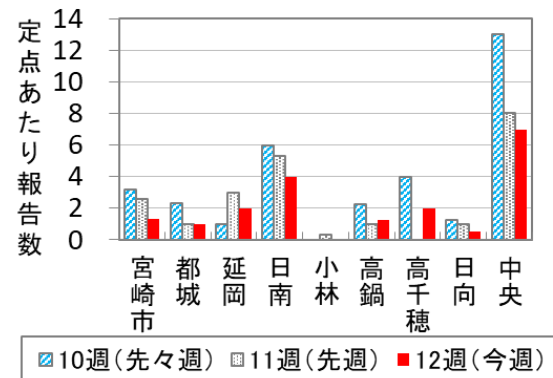
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第12週)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、前週比1.0倍と横ばいであった。宮崎市保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は2例(定点当たり0.3)で、宮崎市(1例)、都城(1例)保健所から報告があった。年齢は0～4歳が1例、5～9歳が1例で、いずれも病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	感染性胃腸炎(21.6)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(25.0)
高鍋	なし
高千穂	インフルエンザ(11.5)
日向	なし
中央	伝染性紅斑(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

🇯🇵 全国 2025 年第 11 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	235 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	22 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	15 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	35 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性脳炎	3 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	29 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	67 例	水痘(入院例)	9 例
	梅毒	181 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	561 例	風しん	1 例
	麻しん	12 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、RS ウイルス感染症、伝染性紅斑で、減少した主な疾患は特になかった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 18,927 人(3.9)で前週比 95% とほぼ横ばいであった。茨城県(6.4)、千葉県(5.9)、佐賀県(5.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 34,609 人(11.1)で前週比 98% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.0)の約 1.9 倍であった。大分県(21.9)、愛媛県(19.3)、香川県(18.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	59	54	4	2	19				23	2	4
	定点当り	1.02	0.93	0.25	0.20	2.71	0.00	0.00	0.00	11.50	0.33	2.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	163	117	18	22	24	13	2	16	14	6	2
	定点当り	2.81	2.02	1.13	2.20	3.43	2.60	0.50	2.67	7.00	1.00	1.00
RSウイルス感染症	報告数	99	63	17	11	8	10	1	6		10	
	定点当り	2.75	1.75	1.70	1.83	2.00	3.33	0.33	1.50	0.00	2.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	12	5	2		3		1			1
	定点当り	0.33	0.33	0.50	0.33	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	77	55	13	6	8	12		5	2	2	7
	定点当り	2.14	1.53	1.30	1.00	2.00	4.00	0.00	1.25	2.00	0.50	7.00
感染性胃腸炎	報告数	650	573	216	95	19	48	75	65	2	40	13
	定点当り	18.06	15.92	21.60	15.83	4.75	16.00	25.00	16.25	2.00	10.00	13.00
水痘	報告数	4	6	4			1		1			
	定点当り	0.11	0.17	0.40	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	23	17	13		1						3
	定点当り	0.64	0.47	1.30	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	12	9	3	2	2	1	1				
	定点当り	0.33	0.25	0.30	0.33	0.50	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	1		1							
	定点当り	0.67	0.17	0.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数		2	1	1							
	定点当り	0.00	0.29	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～12週 保健所受理分)

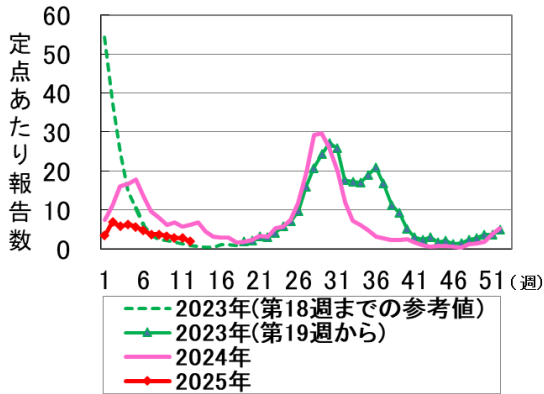
2類感染症	結核	29例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	5例	レジオネラ症	2例
5類感染症	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例(1)	水痘(入院例)	1例(1)	梅毒	25例(3)
	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	1例	百日咳	205例(38)

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 12 週、全国第 11 週(再掲)》

□ 県内第 12 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

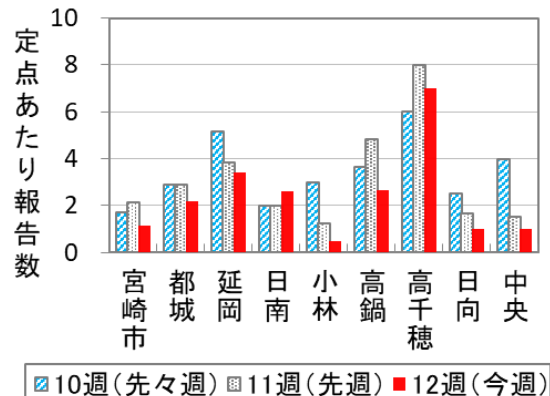
3 月 17 日～3 月 23 日までの 1 週間で 117 人(2.0)の報告があり、前週比 72%と減少した。高千穂(7.0)、延岡(3.4)、高鍋(2.7)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

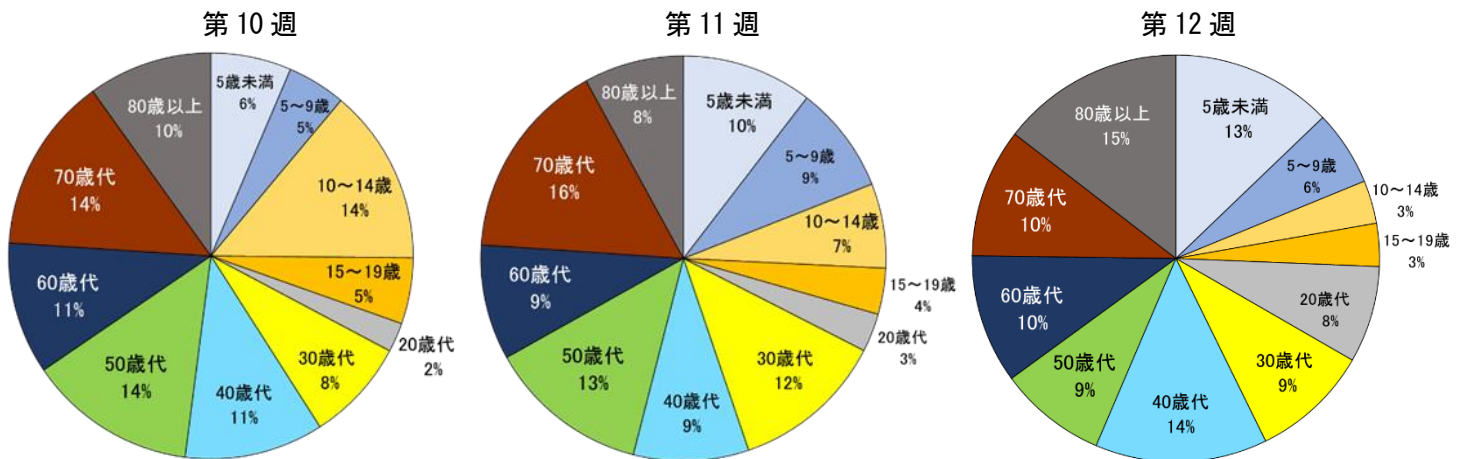


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

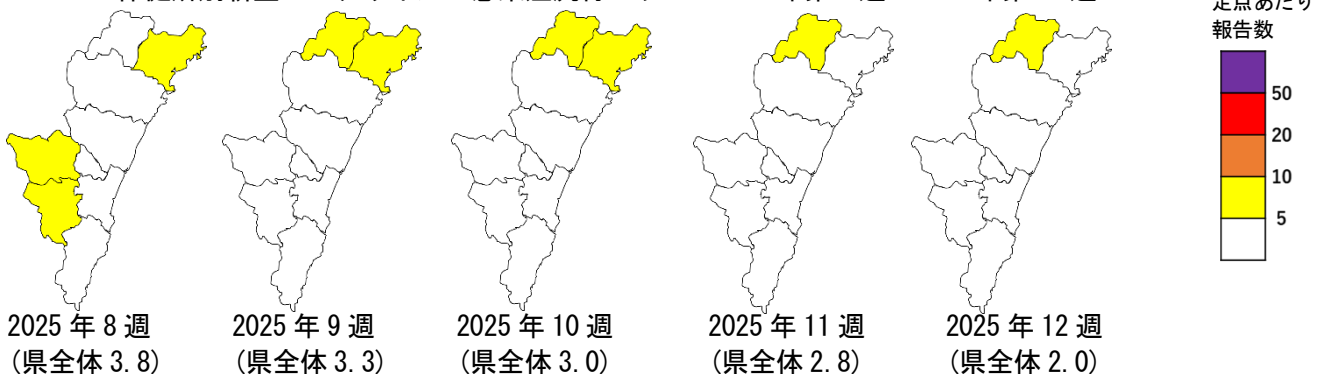
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2025 年第 8 週～2025 年第 12 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 11 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

3 月 10 日～3 月 16 日までの 1 週間で 18,927 人(3.9)の報告があり、前週比 95%とほぼ横ばいであった。茨城県(6.4)、千葉県(5.9)、佐賀県(5.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

※新型コロナウイルス感染症情報の発行は、今回で終了となります。